所沢市立美原中学校

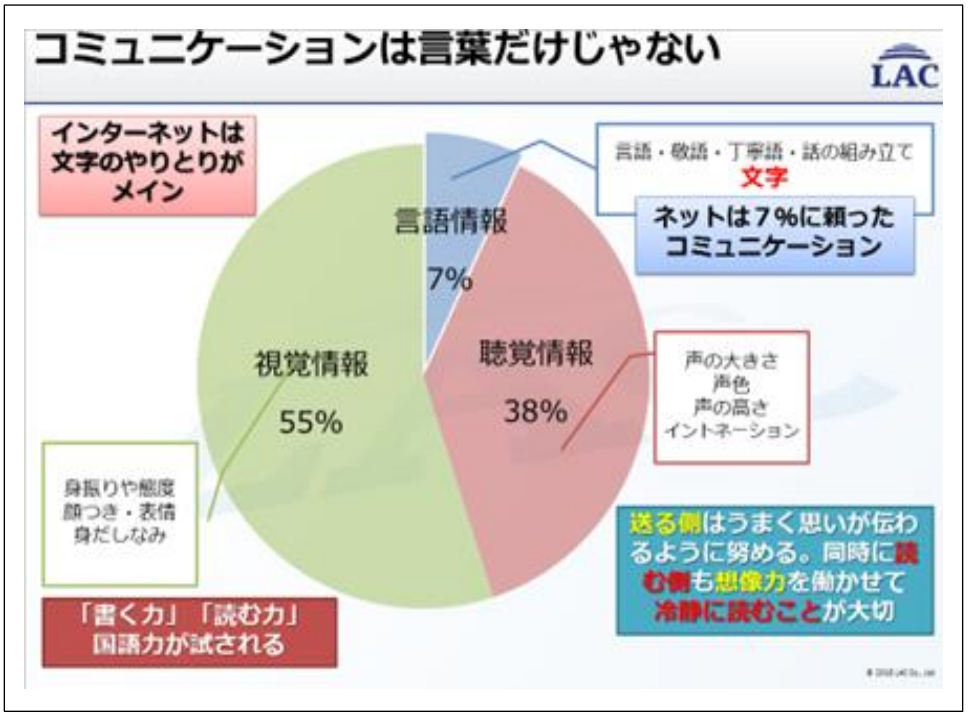
学校だより No9

令和３年度　第９号
１２月９日（木）

学　校　教　育　目　標
・進んで学ぶ生徒（知）
・心豊かな生徒（徳）
・たくましい生徒（体）

ほんの小さな一言の大きな力!!　目に見える行動が生み出す力！！

昔の人は、「言霊」（ことだま）と言って、言葉は使い方によって人の幸せと不幸を左右すると信じていたそうです。私は、このことについて大いに共感できるのです。なぜならば、３年生は、今、校長面接の真っ最中ですから、一言一言を丁寧に発言しているのがよくわかるのです。高校での面接は、この受験生は高校に入って、ちゃんとやっていけるかを問われる場面ですから、緊張もやむを得ないことと思います。しかし、兄弟や知人に身近で就職活動をしている人から話を聞けばよくわかりますが、就職の面接に比べたら中学校の校長面接が懐かしく思い出され、「あの時は、よかったな！」と思えるくらい穏やかなものだと感じるはずです。いわゆる難しいい質問が繰り返される厳しいプレッシャー面接は、ほとんどないといっていいでしょう。ですから、校長面接が終わるとほとんどの人が「できた」「よかった」と感じて帰るのだと思います。しかし、これで安心しすぎては、いけません。最初にお話しした通り、言葉は大きな力を持つのです。以前体育祭で私の苦手だった英語の先生が高校時代サッカーばかりやっていた私に、数少ない私の良いところを見つけ、かけてくださった、たった一言によって教師の道を選ぶきっかけになったことをお話ししました。ですから私は、校長室の前の額にかけてある言葉、その人のことを真から思う言葉は、厳しくとも慈悲に満ちた言葉として伝わり、その人に新たに起き上がる力を与えると信じ「愛語は、廻天の力あり」という言葉を大切に「ことば」の大切に「ことば」の大切さを忘れないように示しているのです。（詳しくは、校長室前に説明の掲示物あります。）



しかし、私は、３年生の校長面接で教えた内容が、それと一見矛盾していると感じる生徒もいると考え、ここで更に説明を加えます。私が教えたのは、メラビアンの法則というものを説明したもので初対面の人物の第一印象は3～5 秒で決まり、その情報のほとんどを「視覚情報」から得ているものだといいます。ですから何人かの人には、面接室に入った3 秒～5 秒が大切だと教えたのです。短い時間の勝負で

すのでこれもまた大切です。
３年生は、先日行われた「情報モラル教育」の中の「ネットや書き込みによるいじめの予防」もメールの言葉の誤解や伝わりにくい言葉、誤解が生じやすいという言葉の説明があったと思います。社会では、メラビアンの法則は、誤解された解釈もあり、「見た目が一番重要」「話し方のテクニックが重要」と極端な解釈をされているものがあります。しかし、現実のなかで、私は、日ごろから身近で付き合う人の信頼関係を前提とした魂の言葉とそれを視覚的にわかりやすく伝えられることが一番よい方法と考えています。

子曰く、（　しいわく　）
晏平中、（　あんぺいちゅう　）
善く人と交わる。（　よくひととまじわる　）
久しくして之を敬す。（ひさしくしてこれをけいす）
公治長第五より

その様な中で私は、校長室に自分に自戒の念を込めて、左の言葉を掲示しています。一般的な人は、出会った当初は、愛想もよく礼儀正しいけれど、次第にぼろがでたり、その人のあらが見えてきます。しかし、晏兵中という人物は、その逆で中国の荒れた時代においても　１，２を争うリーダーであり、多くの人と常に敬意をもって交流し、長く付き合うほど周囲から尊敬の念を抱かれた人格者だったという意味です。
その人の行動や生き方も含めて伝える側が伝える人を心から思う魂の言葉、それを伝える行為、それを素直に受け取る、そのコミュニケーション自体の両方が成立することが幸せなのです。
これからの高校生活以降もこのような出会いと日常生活、そして別れというサイクルは、だれにでも訪れることです。一時の面接や出会いも、日々の生き方一瞬一瞬をつなげた日常も大切にし、人それぞれの個性や特性を大切にしつつ、温かい言葉を交わす。時としては、言葉より行動によってそれを伝え、これからも一人一人が大切にされる山口中学校を推進させましょう。

冬休み目前から、冬休みに外出した際の過ごし方について！

先日も、メールや通知で、連絡しましたが、夜間の外出注意や見届けのお願いをいたしました。コロナのオミクロン株などの新種株の発生とそれに伴う新たな予防策と制限の実施などストレスフルな社会が続いています。いったんよくなりかけたコロナでしたがやはり、第 6 波の到来など予断を許さない状況は続くようです。私が心配しているのは、この漫然とした雰囲気の中で過ごしている人という環境です。残念ながら電車内での刃物による犯罪と連続される模倣犯の存在、放火、バイクや自動車等の窃盗事件、万引き、不審者の出現、スマートフォンを介して多くの見も知らぬ人との接触など、心配は尽きません。先ほども触れましたように、例年に増してストレスフルな社会は、これから何が引き起こされるか全くわからない状況です。中学生自体も塾や習い事など時間が遅く展開されているのは、了解しているつもりです。登校時に道に広がらない歩き方や横断歩道の使い方など学校でも幾度も繰り返し指導しているところです。しかし、ひとたび学校をはなれてしまえば本人の注意次第となってしまいます。HP の通知を再度確認していただき、夜間に限らず学校から出ての毎日の生活や長期休業中は、ご家庭にお返しすることとなり、家庭での時間が長くなります。
行動範囲の広い中学生ですので、見届けにくれぐれもご配慮いただきますよう重ねてお願いいたします。